

# 火災

地震の後や、日頃の火の取り扱いに注意しましょう。

## 火災発生時とるべき行動

- ・大きな声で叫び、まわりに知らせる・通報する
- ・火が大きくなる前に、初期消火する
- ・危険を感じたらすぐに避難する



住宅用火災警報器  
設置維持管理PRキャラクター  
枚寝 カン子

## 住宅防火いのちを守る10のポイント

火災の約9割は住宅火災です。近年の住宅火災による死者数は年間約1,000人前後で推移しています。火災を起こさないために「4つの習慣」と「6つの対策」を心がけましょう。

### 4つの習慣

1 寝たばこは、絶対しない、させない



2 ストープの周りに  
燃えやすいものを置かない

3 こんろを使うときは  
火のそばを離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、  
不必要なプラグは抜く

### 6つの対策

5 火災の発生を防ぐために、  
ストーブやこんろ等は  
安全装置の付いた機器を使用する

6 火災の早期発見のために、  
住宅用火災警報器を定期的に  
点検し、10年を目安に交換する

7 火災の拡大を防ぐために、  
部屋を整理整頓し、寝具、衣類及び  
カーテンは、防災品を使用する

8 火災を小さいうちに消すために、  
消火器等を設置し、  
使用方法を確認しておく

9 お年寄りや身体の不自由な人は、  
避難経路と避難方法を常に確保し、  
備えておく

10 防火防災訓練への参加、  
戸別訪問などにより、  
地域ぐるみの防火対策を行う

## もしも服に火がついたら…

### ① 止まる(ストップ)

火が衣服についたまま走ると、風が起こって火の回りを早めてしまうため、決してあわてて走らないように注意してください。

### ② 倒れる(ドロップ)

地面に向かって体を倒します。このとき、燃えている部分を地面に押しつけるようにしてください。

### ③ 転がる(ロール)

地面に体を倒したまま、右へ左へと転がってください。ちっ息消火で、火を消し止めます。

Try!

# 住宅用火災警報器を設置・点検しよう

## 住宅用火災警報器の気になる点



### なぜ必要なの？

住宅火災で亡くなられた方の多くは「就寝中の逃げ遅れ」が原因です。火災を早期に発見することで、初期消火や通報が早まり被害の軽減につながります。また、条例にも設置が義務付けられています。火災から大切な生命と財産を守るために1日も早く設置しましょう。

### 設置が必要な建物は？

- 戸建て住宅
- 店舗付き住宅の住宅部分
- 自動火災報知設備が設置されていない共同住宅

### どこに設置すればいい？

寝室および階段に、煙式の住宅用火災警報器を設置してください。台所への設置は任意です。

### 点検の頻度はどのくらい？

- 定期的に作動するか確認しましょう(月に1回が目安)。
- 機器の交換が必要です(おおむね10年に1回が目安)。

### どうやって点検するの？

点検ひもを引くか、点検ボタンを押すだけです。音が鳴らなければ故障か電池切れの可能性があります。

### 住宅用火災警報器がなったらどうすればいい？

落ち着いて、火元を確認し、大きな声で助けを求めましょう。119番通報し、火が天井に達していないようであれば初期消火を行ってください。ただし危険を感じたらすぐに避難しましょう。

#### お問い合わせ

枚方消防署	☎852-9933
枚方東消防署	☎852-9999
寝屋川消防署	☎852-9966

## 住宅用火災警報器設置の奏功事例

### 就寝中に火災で危機一髪

就寝中に住宅用火災警報器の警報音で目が覚め、確認したところ、居間のこたつ布団から炎が上がっていました。私は浴室へ向かい、浴槽の残り湯を使って初期消火を行い、鎮火に成功しました。



### 火元の確認は忘れずに

鍋の火を消すのを忘れ、外出してしまいました。近隣者が住宅用火災警報器の警報音で異変に気づき、台所から煙が出ているのを発見。119番通報を行いました。早期に発見されたので焼損は鍋だけでした。

